

新規受託開始及び受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、新たに受託開始及び受託中止をさせていただきますこととなりましたので謹んでご案内申し上げます。

先生方には何卒ご了承賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■ 新規受託開始項目および実施日

【実施日】2025 年 5 月 30 日(金)ご依頼分より

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)
4766	Mac-2 結合蛋白 糖鎖修飾異性体 (M2BPGi) 定量	血液 2.0 血清 0.5	A	冷蔵 (14日)	3~5	194 ※4	CLEIA	0.84未満 (AU/mL)

※4:生化学的検査(I)判断料

※新規項目詳細は別紙をご参照ください。

■ 受託中止項目および最終受付日

【最終受付日】2025 年 5 月 29 日(木)ご依頼分まで

項目コード	検査項目	検査案内 掲載ページ	備考
0807	M2BPGi (Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体)	P4	今回の新規項目受託開始に伴い、 受託を中止させていただきます。

以上

検査のご依頼に関するご不明な点やご要望等につきましては、弊社営業担当、
または学術インフォメーションまでお問い合わせ下さい。TEL:075-631-6230

● Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi) 定量

カットオフインデックス(C.O.I.)から定量値での評価が可能となりました。



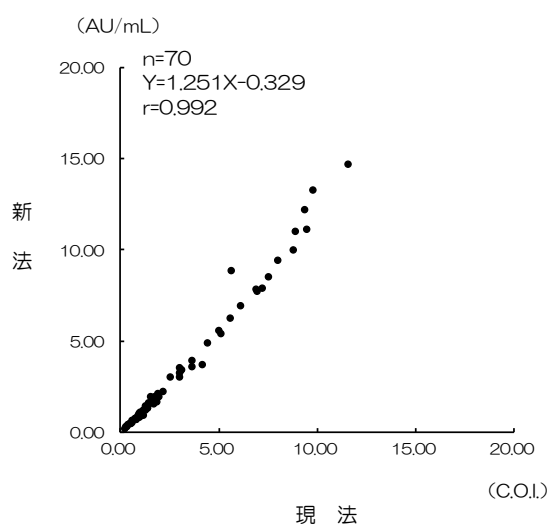
M2BPGi(Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体:Mac-2-binding protein glycosylation isomer)は、肝生検との一致率が高く、肝線維化のステージを反映することから肝線維化マーカーとして知られています。

従来法によるカットオフインデックス(C.O.I.)から定量値となることで、肝線維化の進行をより詳細に評価することが可能となり、慢性肝炎や肝硬変の早期発見から治療方針の選択・モニタリング時の検査としてさらなる活用が期待されています。

▼検査要項変更点

	新	現
検査項目名	Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi) 定量	M2BPGi (Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体)
項目コード	4766	0807
基準値(単位)	0.84未満(AU/mL)	(-) 1.00未満(C.O.I.)
報告範囲(単位)	0.10未満、0.10～59.9、60.0以上(AU/mL)	0.10未満、0.10～20.00、20.01以上 (C.O.I.)

●相関



●参考文献 Uojima H, et al:J Gastroenterol 58(12):1252～1260, 2023.

(検査方法参考文献・臨床的意義参考文献)